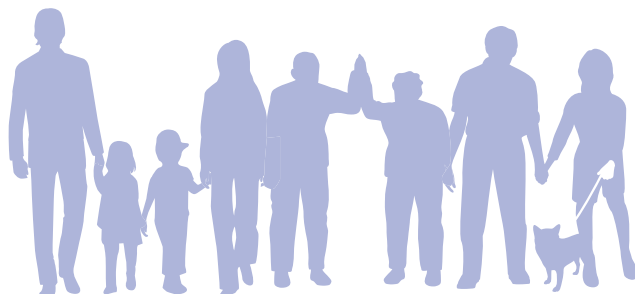


第1編

総合計画について

Ishinomaki Comprehensive Plan

第1章 ・ 総合計画について



第 1 章

総合計画について



第1章 総合計画について

(1) 総合計画の概要

総合計画は、本市の全ての計画の基本となり、計画的、効率的行政運営の観点を盛り込んだ長期的視点から市全体の方向性を示す、市政運営の指針となる最上位計画であり、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」の3層構造で構成されています。

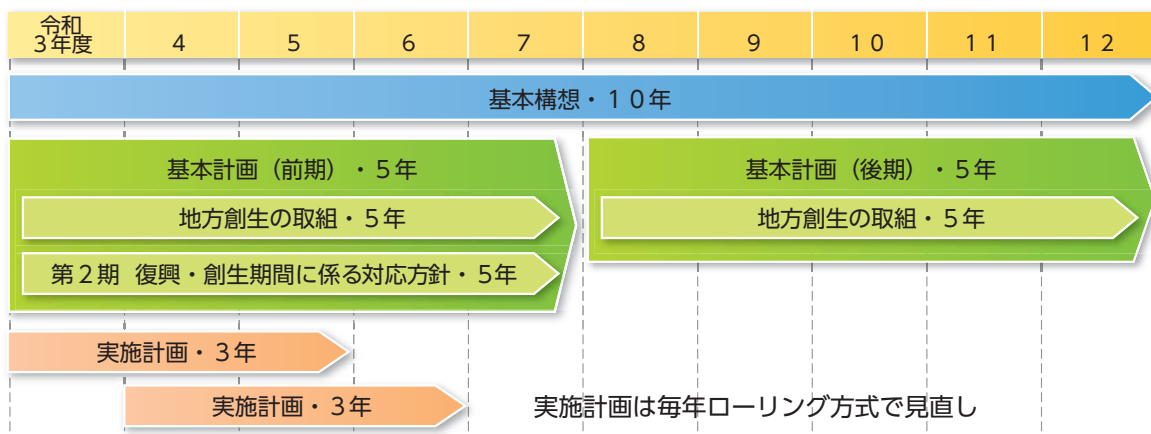
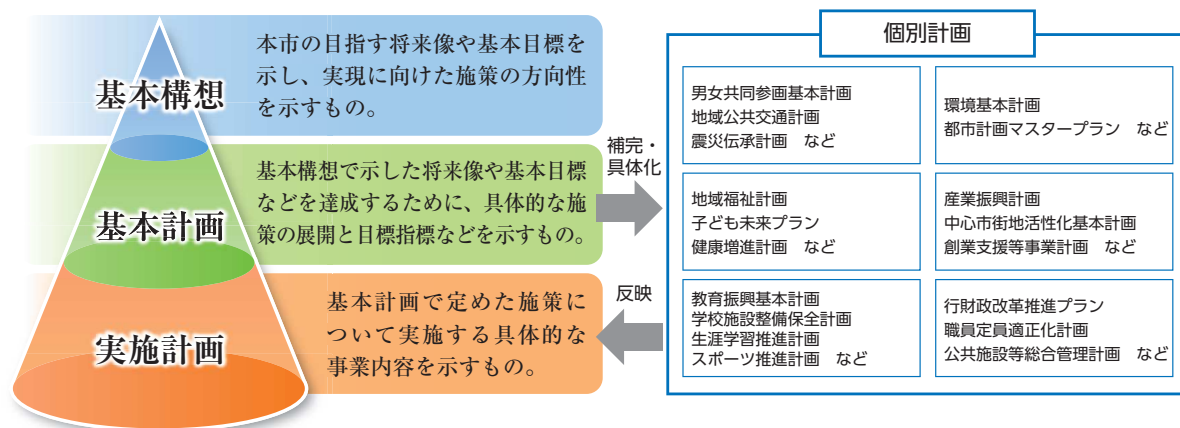
基本計画は、基本構想で示した将来像や基本目標などを達成するために、具体的な施策展開と目標指標を示すものです。期間については、令和3年度から令和7年度までの5年を前期計画、令和8年度から令和12年度までを後期計画とし、今回は前期計画を策定します。後期計画については、前期計画の実施状況を踏まえ、令和7年度に策定を行います。

なお、本計画に位置づけている「第2期 復興・創生期間に係る対応方針」は、国において、令和3年度以降の復興の取組である「第2期 復興・創生期間」が示されたことから、策定するものです。

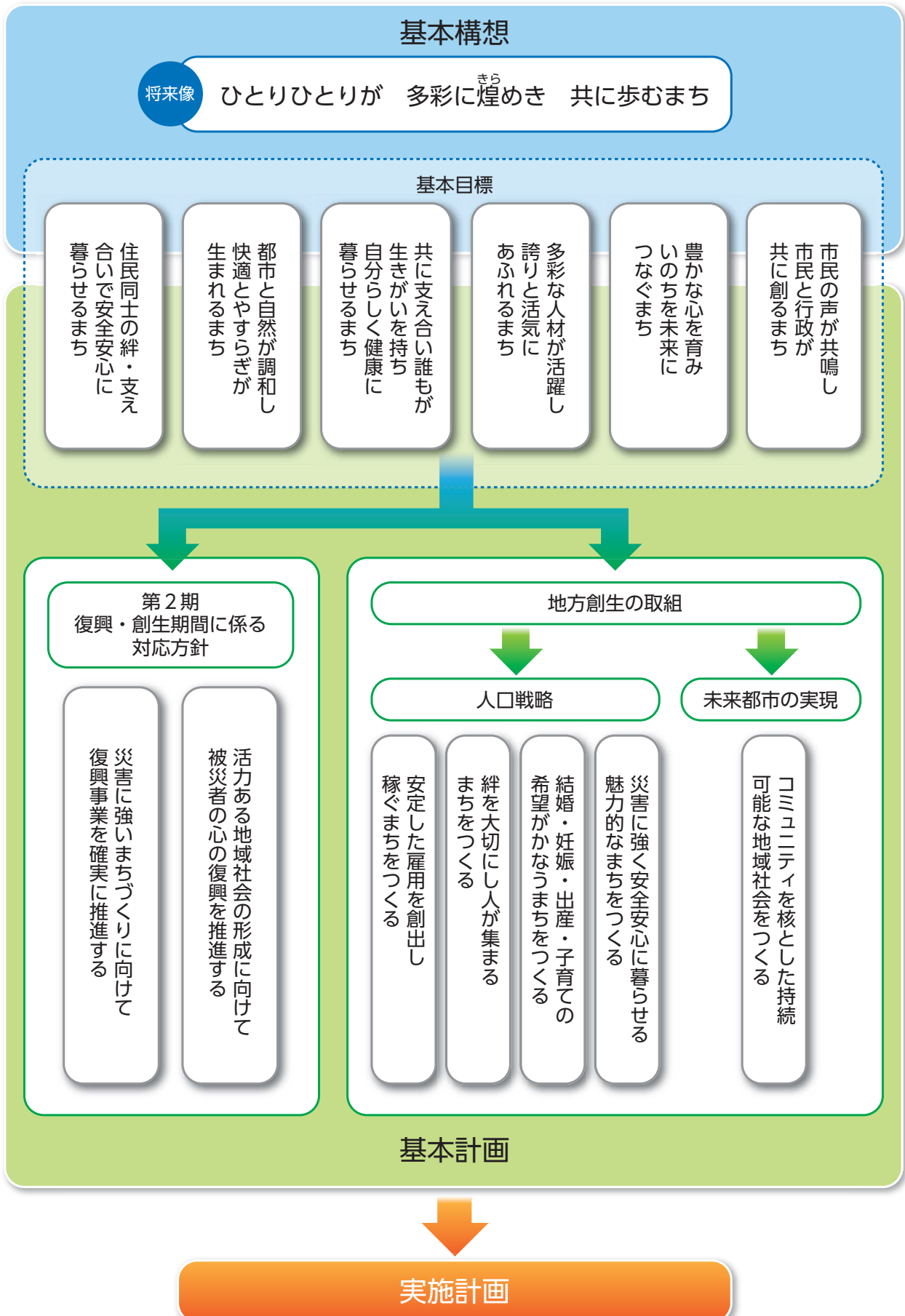
また、本市では人口減少などへの対応を目的とする「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し地方創生への取組を推進してきました。

今回策定する総合計画では、人口減少対策である「人口戦略」及びSDGsの理念に基づき持続可能な地域社会を目指す「未来都市の実現」を基本計画に取り入れることにより、国が「まち・ひと・しごと創生法」に基づき地方自治体へ策定を求めた「地方版総合戦略」に相当するものを総合計画と一体的に策定します。

いずれも、基本計画の中で各分野を横断して重点的に取り組む項目を抽出しており、各種復興事業の完結や被災者支援事業による活力のある地域社会の形成を目指すための施策、地方創生に係る施策を基本計画に盛り込むことにより、将来にわたり持続可能な市政運営を目指すものです。



(2) 総合計画の構成



(3) SDGs との関係

平成27年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals = SDGs）」は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット、232の指標で構成される国際社会全体の開発目標です。

開発途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本では民間企業において先行して取り組んでおり、各自治体においても取組が広がり、本市においても、このSDGsを原動力とした地方創生の推進に向け、民間企業、金融機関などの多様なステークホルダー^{*}との連携を進め、積極的に取り組んでいくことが必要となっています。

また、本市は、令和2年7月にSDGs未来都市^{*}及び自治体SDGsモデル事業^{*}に選定されました。自治体SDGsモデル事業については、宮城県内では初の選定となります。

選定された事業概要については、提案全体のタイトルを「最大の被災地から未来都市石巻を目指して」、サブタイトルを「グリーンスローモビリティ^{*}と「おたがいさま」で支え合う持続可能なまちづくり」と題し、人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足や東日本大震災に起因したコミュニティなどの課題に対し、環境保全に資する新産業創出による地域経済の活性化や未来技術を活用した新たな移動手段の構築、高齢者の孤立防止による地域コミュニティの活性化を図り、支え合いで築き上げる持続可能な地域社会の実現を目指すものです。

総合計画基本計画の策定にあたり、多彩な地域資源を活用し、課題に対応するために効率的な行政運営を推進することにより、持続可能な開発目標の達成に向けたまちづくりを進めます。

今後もSDGsの普及啓発に積極的に取り組むとともに、多くのステークホルダーと連携し、自治体SDGsモデル事業をはじめ、SDGsに対する取組を推進してまいります。



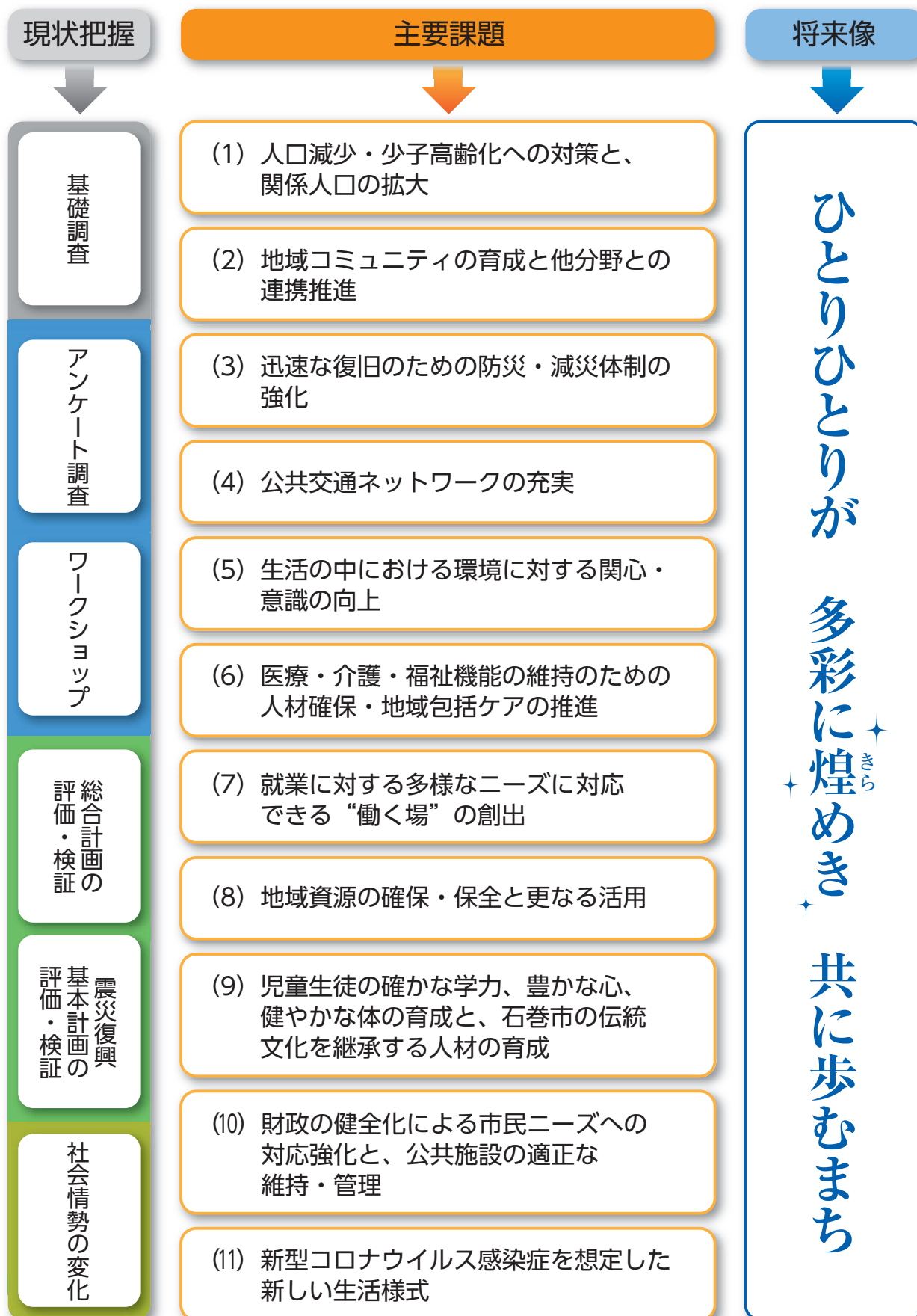


日本と世界を変えるための**17**の目標です。



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

(4) 総合計画策定の経過



リーディングプロジェクト

本市の将来像の実現を推進するため、6つの柱を掲げ、「人口減少などの課題に柔軟に対応できる、活力に満ち、市民が住むことに誇りを持てるまち」を築きます。

6つの柱

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスから市民の命、生活を守るとともに、事業者及び生活困窮世帯などへの支援を推進します。

全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり

多彩な祭りや文化、スポーツ、趣味等で楽しく暮らせる政策や交流人口の拡大を推進します。

復興完結と安全・安心なまちづくり

未完成のハード事業を着実に推進し、自然災害などから市民を守るとともに、誰もが健康で安心な暮らしを確保し、地域住民と行政の協働による包括的支援体制の構築を推進します。

人口減少対策と地域コミュニティの強化

若い世代の定住に向けた取組や地域に安心して住み続けられる環境の整備、地域コミュニティの活性化を推進します。

産業の発展と雇用創出

第1次産業の担い手の確保・育成支援やデジタルトランスフォーメーションの普及啓発を推進するとともに、企業誘致、高齢者の就労支援などによる産業発展と雇用創出を推進します。

物流拠点の形成と新たな観光の構築

道路交通網や港湾機能を活用した物流拠点を形成するとともに、地域資源を活用した観光施策を推進します。

重点施策

- ワクチン接種体制の強化
- PCR検査体制の充実
- コロナ禍の事業者への徹底支援強化
- 生活困窮者への徹底支援

- 多彩な祭り・文化・スポーツで交流人口を増やす
- 趣味やボランティアに集えるまちづくり（中間支援組織の活用）
- 豊かな自然保護と魅力の発信
- SDG s 未来都市の構築

- 復興完結と災害に強いまちづくりの確立
- 原発避難計画・避難訓練の徹底、避難道路の早期整備
- 市民の健康・命を守る医療体制の充実
- 介護従事者の働く環境整備と人材育成強化
- 地域包括ケアの推進

- 出産・育児・子育て支援等若者の定住促進
- 学力・体力向上対策の徹底
- 高齢者の交通手段確保
- 移住促進
- 自治会・町内会コミュニティ充実強化（中間支援組織の活用）

- 次世代に繋げる農林・漁業の確立・強化
- 地場産業の支援・高度化
- DXの普及と全世代の就労対策の強化
- 中心市街の再生・活性化
- 桃生豊里インター周辺に産業団地の形成

- 仙台塩釜港石巻港区の機能強化
- 石巻新庄道路始め交通体系の整備促進
- 誰もが喜ぶ新たな観光構築
- 仙石・東北ラインの女川までの増便

基本目標

基本目標 1



住民同士の絆・支え合いで
安全安心に暮らせるまち

- ① 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実
- ② 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進
- ③ 安心して暮らすための地域防災力などの向上
- ④ 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進
- ⑤ 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進
- ⑥ 未来につなぐ震災伝承の推進

基本目標 2



都市と自然が調和し
快適とやすらぎが生まれるまち

- ① 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実
- ② 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進
- ③ 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進

基本目標 3



共に支え合い誰もが生きがいを持ち
自分らしく健康に暮らせるまち

- ① 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実
- ② 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実
- ③ 共に安心して暮らせる障害福祉の充実
- ④ 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進
- ⑤ みんなが共に支え合う地域共生社会の実現

基本目標 4



多彩な人材が活躍し
誇りと活気にあふれるまち

- ① 賑わいと活気にあふれる商工業の振興
- ② 持続可能な漁業・水産加工業の振興
- ③ 魅力的な農林畜産業の振興
- ④ 地域資源を活かした観光事業の振興
- ⑤ 企業誘致の推進と新たな産業の創出
- ⑥ 未来の産業を担う人材の確保と育成

基本目標 5



豊かな心を育み
いのちを未来につなぐまち

- ① 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進
- ② 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実
- ③ いのちを守る防災教育の推進
- ④ 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進
- ⑤ 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進
- ⑥ 生涯にわたるスポーツ活動の推進

基本目標 6



市民の声が共鳴し
市民と行政が共に創るまち

- ① 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進
- ② 持続可能な行財政運営の推進

(5) 計画の推進

総合計画の進捗管理は、数値目標の達成状況について、外部委員等による評価・推進会議を実施します。

評価・推進会議を踏まえた、計画（PLAN）、実施（DO）、管理・検証（CHECK）、調整（ACTION）といったPDCAサイクル^{*}を確立し、計画を推進します。

